

大規模で複雑なFMEAとDRは百害あって一利なし！

# 「シンプルFMEA」「ミニDR」で「設計トラブル潰し」の手法を学ぶ

FMEAやDRの資料作成・エビデンス作りは設計者の「本来業務」ではない！

日時 2025年3月14日(金) 10:00~17:00 (9:30 受付開始) ※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 國井 良昌 氏  
國井技術士設計事務所 所長受講料 48,400円 (資料含む、消費税込)  
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- [1] FMEAの新手法「3D-FMEA」と「ミニDR」で取り組む簡単かつ確実な手法が習得できます。
- [2] 本手法により設計変更の影響度が正しく把握でき、品質トラブルの未然防止につながります。
- [3] やらされ感のあるFMEA/DRが解消でき、良い議論・良い設計につながります。
- [4] 簡易な本手法により事前検証の負荷が大幅に軽減し、認証不正・品質不正を防止できます。

## プログラム

1. これでは設計トラブルは防止できない
  - 1-1 ルール重視のFMEAは形骸化する
  - 1-2 大規模なFMEAとDRではオンライン化も不可能で百害あって一利なし
2. FMEA/DRを道具として使いこなすために
  - 2-1 トラブルの98%が潜在する  
トラブル三兄弟(※1)を探索する！  
(※1：新規技術の導入/トレードオフ/××変更)
  - 2-2 最も重要な「××変更」  
変化点ではなく変更点  
変化点はモード系(ファッション系)の単語であり、  
トラブル未然防止は不可能
  - 2-3 インタラクションギャップ(\*2)を見逃すな！  
(※2：複数以上の要因間に潜在するトラブル)
  - 2-4 最適な設計変更のためのトラブル完全対策法  
フルプルーフ設計  
セーフライフ設計  
フェールセーフ設計  
ダメージトレランス設計
  - 2-5 再発を認識したレベルダウン法で対策
  - 2-6 トラブル対策法のワザを伝授するのは本講座だけ！
  - 2-7 演習と解説
3. オンライン化にも 適合するシンプルFMEA
  - 3-1 技術者の、技術者による、技術者のためのシンプルFMEA
  - 3-2 そもそもトラブル未然防止のためのシンプルFMEAとは？
  - 3-3 シンプルFMEAの作成手順
  - 3-4 想定外トラブルはライフサイクル法で抽出
  - 3-5 顧客の目線はシナリオライティング法で抽出
  - 3-6 演習と解説
4. オンライン化にも 適合するミニDR
  - 4-1 技術者の、技術者による、技術者のためのDR
  - 4-2 そもそもDRとは？
  - 4-3 若手技術者を苦しめる大規模DR
  - 4-4 日常的にこまめに実施できるミニDR(MDR)
  - 4-5 ミニDR導入による効果

## 受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。  
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。  
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

## お申し込み方法

ホームページ(<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>)または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

## 受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。  
振込手数料は貴社でご負担願います。

## キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

No.247672

